

# 市展

## 第17回亀山市美術展目録

会 期 令和4年3月6日(日)～3月12日(土)  
午前10時～午後5時（最終日は午後3時まで）

会 場 亀山市文化会館大ホールロビー  
亀山市中央コミュニティセンター

主 催 亀山市  
後 援 亀山市芸術文化協会、公益財団法人岡田文化財団  
協 力 公益財団法人亀山市地域社会振興会



# 目 次

## ○入賞作品紹介・審査評

日 本 画..... 1

洋 画..... 3

写 真..... 5

書 ..... 7

彫刻・工芸..... 9

○特別出展.....11

○出展作品一覧.....12

○第 17 回亀山市美術展について .....17

○入賞作品紹介・審査評

日本画



市長賞

「Good Job II」日當 優子



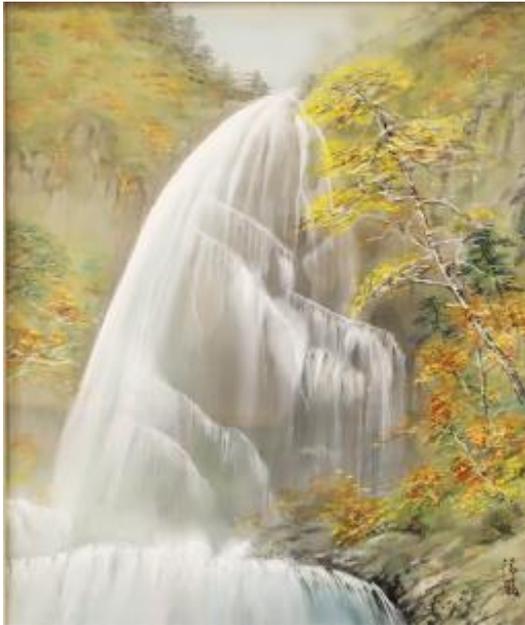
議長賞

「雪景色」木田 康仁



教育長賞

「廃屋の春」中森 新次



芸術文化協会会長賞  
「安の滝（秋田）」小坂 誠二



岡田文化財団賞  
「こっち甘いよ」原 征子

## 審査評

出点数が少ないながら、作品のレベルは高く、各自が上達していることがみられます。テーマもバラエティに富んでおり色彩豊かな作品が多くみられました。

市長賞の「Good Job II」は、モチーフの捉え方が面白く、インパクトがある作品となっていて、絵の見せ場がしっかり捉えられています。背景と車の色彩対比の妙があり、造形力に優れており惹きつけられる作品となっています。

議長賞の「雪景色」は、構図がダイナミックで、質感と色の魅力とトーンの幅も美しい作品です。

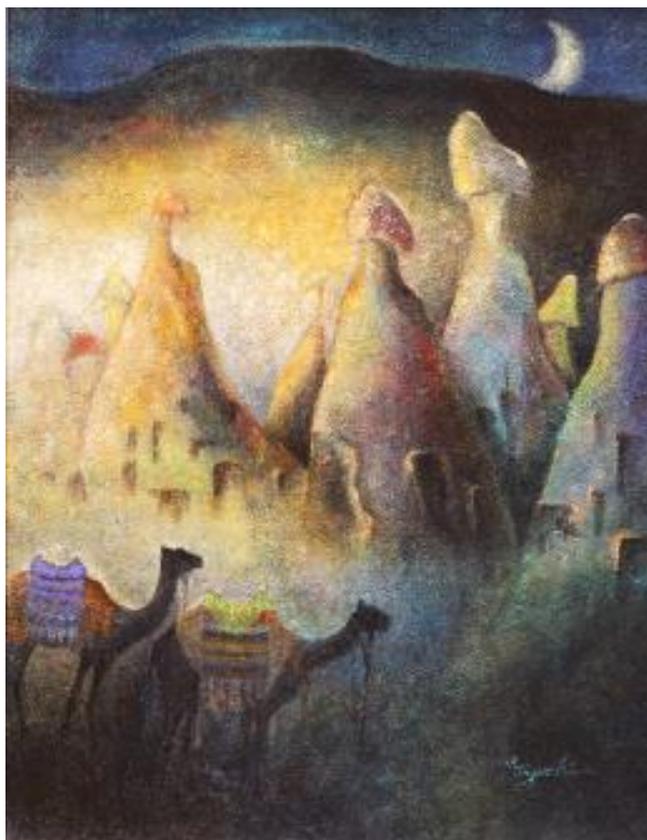
教育長賞の「廃屋の春」は、廃屋と背景の緑のバランスが良く、前景の描きこみが魅力的な作品です。

芸術文化協会会長賞の「安の滝（秋田）」は、日本画の古くからの描法で描かれており、勢いよく流れ落ちる滝の白が印象に残る作品です。

岡田文化財団賞の「こっち甘いよ」は、絹本という素材を生かし、ぼかしを効果的に使い、明るく楽しい雰囲気作品です。

日本画部門審査員 永都 叶千 川口 茜漣 山崎 和夫

# 洋画



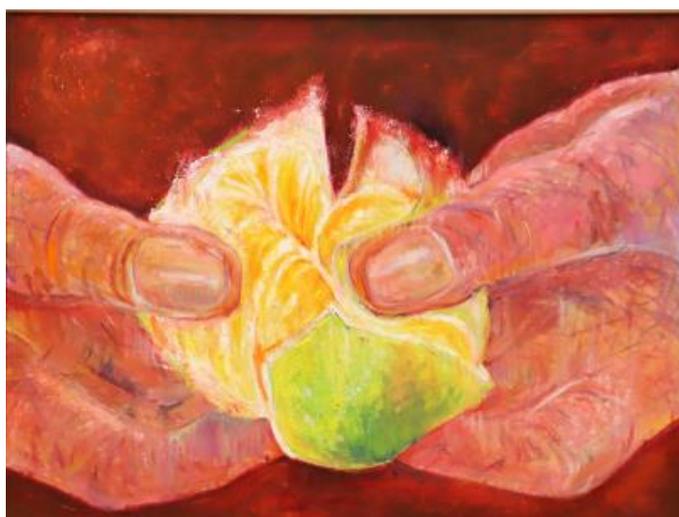
市長賞

「アジアの果て」 田口 眞佐子



議長賞

「カフェ」 斎藤 政子



教育長賞

「剥く」 村田 円莉子



芸術文化協会会長賞  
「華やぎ」山中 浩市



岡田文化財団賞  
「金網越しの夕日」石谷 長生

## 審査評

作品の中にコア（核）がある秀作が多く、作者の意図も強く感じさせるものが目立ちました。コロナ禍の影響か、生活の何気ないことを題材にしたものが多かったように思います。作者の心情に触れることで人の温かさや力強さを感じ取ってほしいと思います。

市長賞の「アジアの果て」は、作者の世界観が詰まっており、技術的にも優れたマチエールの美しい創造性豊かな作品です。

議長賞の「カフェ」は、心地よい色調とマチエールが際立ち、おしゃれさの中に情感が潜む作品です。

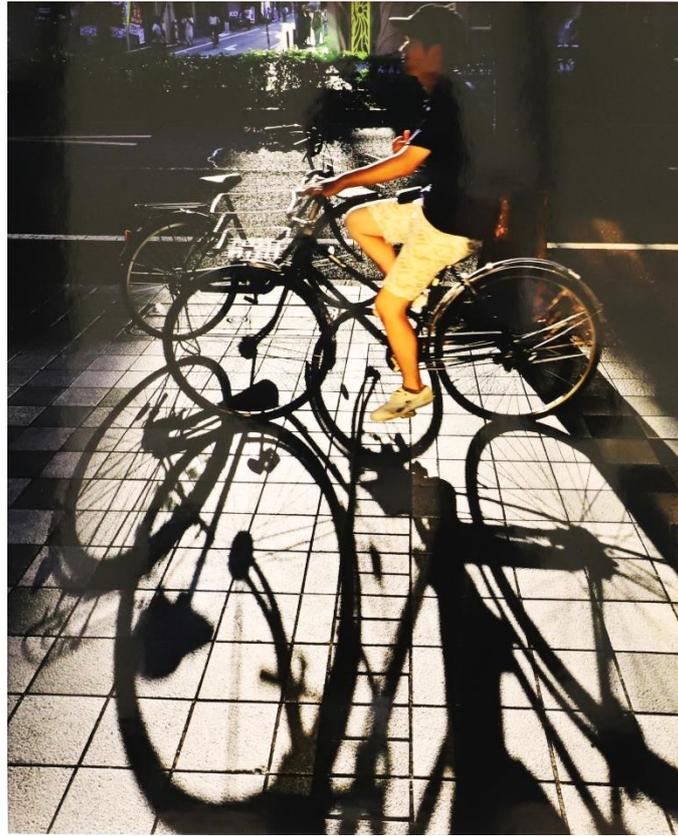
教育長賞の「剥く」は、日常の中に美を見出し、ユーモアや余裕をにじませている作品です。

芸術文化協会会長賞の「華やぎ」は、小さな作品ながら花の描きこみとバックのバランスが良い作品です。

岡田文化財団賞の「金網越しの夕日」は、絵が鋭く大胆で若々しく、人生に勇気をもらう作品です。

洋画部門審査員 田村 公男 伊藤 龍彦 川村 隆夫

# 写真



市長賞  
「リング」村田 芳男



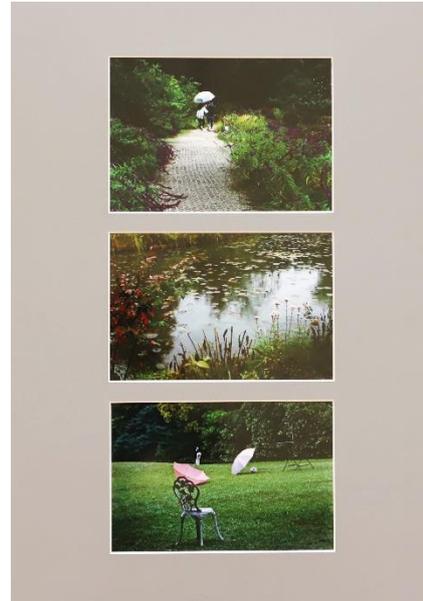
議長賞  
「爆笑」山川 充子



教育長賞  
「波濤の海」早川 新一



芸術文化協会会長賞  
「幽霊電車」 笠井 俊夫



岡田文化財団賞  
「小雨の恋」 池山 康夫

## 審査評

コロナ禍が続き、撮影の機会が少ない中、応募作品の全体的なクオリティは高かったです。全体の作品を見ると祭りやイベントの作品は数少なかったですが、身近な日常のなかで撮影した作品にも秀作が数多くありました。審査員の想いとしては画像ソフトでの誇張はできる限り避ける方向で制作していただきたいと思います。「写真とは何か」を一緒に考えていきたいと思います。

市長賞の「リング」は、面白い瞬間を縦位置で画面構成しているところが斬新です。特に、影の形や重なりが幾何学的に非常に上手く捉えられています。足の部分にスポット的に光が当たっているのも効果的な作品です。

議長賞の「爆笑」は、それぞれの表情がモノクロームで上手く描写されている作品です。

教育長賞の「波濤の海」は、サーフィンの様子を良いシャッターチャンスで捉えている作品です。

芸術文化協会会長賞の「幽霊電車」は、レトロな車輛を夜の街の中に色彩と光沢を浮かび上がらせている作品です。

岡田文化財団賞の「小雨の恋」は、雨天の何気ない写真を三枚組むことで一つの世界観を表している作品です。

写真部門審査員 松原 豊 山口 政宣 石井 清

教育長賞 「杜甫詩」 松田 香華

花隱掖垣暮啾々  
佳鳥過星臨萬戶動  
月傍九霄多不寤  
聽金鑰因風想  
玉珂明於有珮事  
歎口夜如何  
杜甫詩 香華書

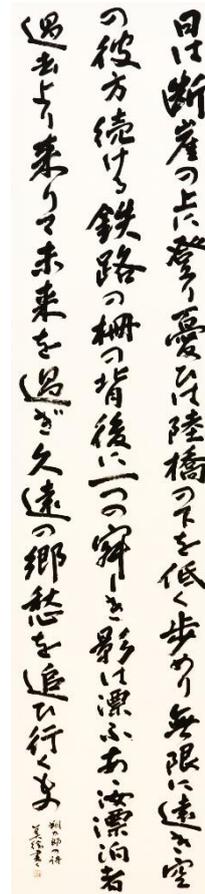
議長賞 「与謝野晶子の歌」 安藤 佑珠

春の夜の闇の中  
多きあまき風しほし  
かの子が髪に吹かされ  
顛ごしに曉の月を  
加茂川の浅水色の  
文に水藻染よ  
佑珠書

市長賞 「劉禹錫詩」 蔦 皓月

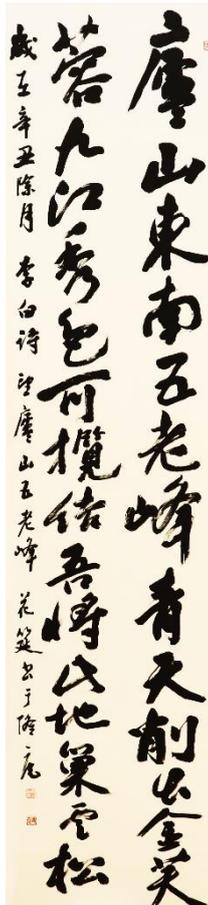
彌年不得意  
新歲又如何  
念昔同遊者  
而今有幾多  
以骨為自  
且將壽補  
蹉跎  
去色無新  
如幽居  
亦見過  
劉禹錫詩 皓月書

岡田文化財団賞 「漂泊者の歌」 北川 美絵



日は断崖の上登り憂は陸橋の下を低く歩り無限の遠き空  
の彼方繞りて鐵路の柵の背後に一つの扉と影は漂ふあゝ漂泊者  
過去より来りて未来を過ぎ久遠の郷愁を追ひ行く也

芸術文化協会会長賞 「望=廬山五老峰」 櫻井 花筵



廬山東南五老峰青天削出金芙蓉  
蒼九江秀色可攬佳吾峰此地策雲松

咸亨五年丑除月 李白詩 望廬山五老峰 花筵 公于附 瓦

審査評

書は長い歴史があり多くの能書家によって現代に伝えられてきた誇りある芸術です。今年の出作品数は昨年と同数で、多彩な表現が見られました。漢字作品においては緩急のある書きぶりと迫力に圧倒され、調和体作品においては意味を十分に咀嚼した良い作品であると感じました。仮名、刻字作品は出品数の増加に期待したいところです。

市長賞の「劉禹錫詩」は、墨量の変化、文字の大小、余白の生かし方がすばらしく、作品全体に立体感が溢れ、鑑賞者を魅了する秀作です。

議長賞の「与謝野晶子の歌」は、漢字と仮名をうまく調和させ、明るく見応えのある作品です。

教育長賞の「杜甫詩」は、文字の大小をつけ墨量豊かで、落款も良くできている作品です。

芸術文化協会会長賞の「望=廬山五老峰」は、気迫が感じられ、充実した作品です。

岡田文化財団賞の「漂泊者の歌」は、確実な線質で、最初から最後まで一貫した作品です。

書部門審査員 稲垣 無得 樋口 鈴峰 伊藤 南邨

彫刻・工芸



市長賞  
「ミュージ狩る」山田 風雅



議長賞  
「まどか」小坂 洋子



教育長賞  
「待春」藏城 豊子



芸術文化協会会長賞  
「廻天」久保 宏心



岡田文化財団賞  
「雪どけ」坂本 祥子

### 審査評

全体的に、作者の想いが伝わる好感の持てる作品が多くありました。出品点数が少ないのが残念です。作品づくりは、集団で作ると相互に審査員になり、さらに楽しくなるとともに、技術が向上すると思いますので、今後に期待しています。

市長賞の「ミュージ狩る」は、見ている者に楽しさが伝わってくる秀作です。鳥を捕まえる手もう少し高いところがあれば、なお楽しさが伝わるとおもいます。

議長賞の「まどか」は、難度の高い造形を試み、しかも焼成技術はすばらしい作品です。

教育長賞の「待春」は、素材の革を立体的に再構築し美術品として仕上げた魅力的な作品です。

芸術文化協会会長賞の「廻天」は、石の持っている力強さがあり台とともにバランスも取れている力作です。

岡田文化財団賞の「雪どけ」は、素材や色彩を巧妙に使い、鑑賞者の想像力を掻き立てる魅力的な作品です。

彫刻・工芸部門審査員 高山 大 恒岡 光興 上原 正廣

## ○特別出展



「Mr, Kanaye Nagasawa ながさわかなえ 長沢鼎」

中村 晋也（亀山市名誉市民）

制作 昭和 60（1985）年 特別協力 公益財団法人中村晋也美術館

長沢鼎という名前は、薩摩藩の英国留学生として、鎖国の日本を出国したときに用いた変名で、長沢（本名磯永彦助）は生涯この名前を名のりました。留学時13歳だった長沢は、商人グラバーに引取られアバディーンの中学校で学び、その後アメリカに渡り、ぶどう園の経営とぶどう酒製造につとめ「ぶどう王」といわれるほどの成功を収めました。その功績を日米で再評価され、1985年カリフォルニア州サンタローザの市議会ホールに、中村晋也制作によるこの胸像が設置されました。ワインのラベルにもこの像が刻まれています。

（参考 広報かめやま 令和4年3月1日号）

## ○出展作品一覧

### 【日本画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	日當 優子	Good Job II	みずほ台
議長賞	木田 康仁	雪景色	みずほ台
教育長賞	中森 新次	廃屋の春	関町木崎
芸術文化協会会長賞	小坂 誠二	安の滝(秋田)	布気町
岡田文化財団賞	原 征子	こっち甘いよ	田村町
奨励賞	生駒 清子	静寂	羽若町
入選	今田 雪峰	和む	鈴鹿市
入選	太田 幸子	穩舞(穩やかな舞)	和田町
入選	栗本 薫	ママああ…!	川合町
入選	谷川 理子	優雅	鈴鹿市
入選	松田 純一	花に舞う	野村三丁目
入選	原 さだ代	熟す	田村町
入選	中西 勝	コロナ禍の祈り(石山観音)	野村一丁目
無鑑査	古旗 敬廣	「春の溪流」	川崎町
審査員	永都 叶千	泰平の礎(東照公想・尾張義直)	名古屋市
審査員	川口 茜漣	時のかたち	津市
審査員	山崎 和夫	ひととき	鈴鹿市
運営委員	宮崎 観峰	さくら	両尾町

## 【洋画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	田口 眞佐子	アジアの果て	上野町
議長賞	斎藤 政子	カフェ	鈴鹿市
教育長賞	村田 円莉子	剥く	両尾町
芸術文化協会会長賞	山中 浩市	華やぎ	アイリス町
岡田文化財団賞	石谷 長生	金網越しの夕日	東御幸町
奨励賞	所 啓子	石仏	上野町
入選	林 正夫	晴れた日	アイリス町
入選	倉田 晴華	笑顔がいちばん	和田町
入選	服部 裕	ポッチャともだち	羽若町
入選	近澤 さとみ	四月	関町萩原
入選	松村 弘志	杉木立	栄町
入選	水谷 和則	潮流	関町小野
入選	神野 魁	自由	川合町
入選	大西 美帆	MIHO ワールド	四日市市
入選	水野 真住	思い出	北町
入選	松尾 徳昌	ルーブルにて	下庄町
入選	坂 裕文	夕暮のコンビナート	東台町
入選	長谷川 千香子	春かぜ	関町富士ハイツ
入選	橘 喜代美	赤レンガ倉庫	鈴鹿市
入選	谷田 結衣	駅	加太市場
入選	田中 香	風にのって	辺法寺町
入選	伊藤 裕子	ひととき	関町木崎
入選	長廻 武志	いつも変わらぬ長閑な風景	伊勢市
入選	小池 勇	移ろい—白山—	本町三丁目
入選	澤田 清隆	陽炎(Ⅱ)	加太神武
入選	藤縄 正博	Vitality	野村一丁目
入選	藤善 ほほか	宇宙遊泳	布気町
入選	渡邊 大貴	らしさ	みどり町
審査員	田村 公男	鏡の女	津市
審査員	伊藤 龍彦	花様年華	菰野町
審査員	川村 隆夫	トレドの丘	四日市市
運営委員	中田 勝彦	鶏	南野町

## 【写真部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	村田 芳男	リング	関町新所
議長賞	山川 充子	爆笑	鈴鹿市
教育長賞	早川 新一	波濤の海	みずほ台
芸術文化協会会長賞	笠井 俊夫	幽霊電車	関町坂下
岡田文化財団賞	池山 康夫	小雨の恋	津市
奨励賞	佐野 昌之	日常	小川町
入選	森崎 進	関の山車	加太向井
入選	井上 英勝	台風接近中	太岡寺町
入選	谷口 初太郎	躍動する沢	住山町
入選	櫻井 信也	凍てつく水流	天神一丁目
入選	服部 清和	ヒヨドリと木瓜	能褒野町
入選	馬路 光一	かたらひ	安坂山町
入選	西村 幸子	ひととき	井田川町
入選	豊田 康文	一人じめ	菅内町
入選	伊藤 隆彦	夕照	鈴鹿市
入選	伊藤 隆	竹取物語	菅内町
入選	岡田 昭重	石垣	関町会下
入選	阿部 充博	厚化粧	みずほ台
入選	滝本 洋一	雫	関町坂下
入選	滝本 麻須美	満天	関町坂下
入選	米村 善廣	海 装う	津市
入選	宮崎 理徳	HONEY	津市
入選	生駒 洋	給水地点	西町
入選	山崎 一博	高みの見物	加太神武
無鑑査	井上 アヤ子	じゃんけん遊び	みどり町
審査員	松原 豊	Local public bath "Sento"	津市
審査員	山口 政宣	鮮彩	桑名市
審査員	石井 清	思考中	伊勢市
運営委員	平野 武	舞う	椿世町

## 【書部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	蔦 皓月	劉禹錫詩	鈴鹿市
議長賞	安藤 佑珠	与謝野晶子の歌	椿世町
教育長賞	松田 香華	杜甫詩	西丸町
芸術文化協会会長賞	櫻井 花筵	望_廬山五老峰_	井尻町
岡田文化財団賞	北川 美絵	漂泊者の歌	鈴鹿市
奨励賞	桜井 育子	臨 寸松庵 色紙	本町二丁目
入選	川上 春琴	李嬌詩	管内町
入選	平田 英也	魚遊釜中	野村一丁目
入選	山本 青蘭	三好達治の詩	みどり町
入選	高橋 慶水	韓愈詩	みどり町
入選	菅生 洋子	榎木 富士夫の詞	アイリス町
入選	安国 比沙子	蘇東坡詩	みどり町
入選	篠原 蕙風	陸游詩	下庄町
入選	森本 春香	沈徳潜詩	津市
入選	清水 遊舟	戴復古詩	東町一丁目
入選	好田 小沙	王維詩	津市
入選	畑中 花影	孟浩然詩	鈴鹿市
入選	岡田 静嶺	杜審言詩	津市
入選	阿久津 研道	劉商詩 題劉偃莊	辺法寺町
入選	竹井 寶山	鍾山即事 王安石詩	みずほ台
入選	梅林 香堂	杜甫詩	西町
無鑑査	竹田 清章	蓮花在水	栄町
無鑑査	豊田 真苑	以和爲貴	管内町
無鑑査	堀田 花	「あさきゆめみし」	東丸町
審査員	稲垣 無得	墨戯	津市
審査員	樋口 鈴峰	愚聖所藏	鈴鹿市
審査員	伊藤 南邨	汪中詩大堤曲	桑名市
運営委員	安藤 清舟	空海句	みどり町

【彫刻・工芸部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	山田 風雅	ミュージ狩る	和田町
議長賞	小坂 洋子	まどか	布気町
教育長賞	藏城 豊子	待春	関町新所
芸術文化協会会長賞	久保 宏心	廻天	川合町
岡田文化財団賞	坂本 祥子	雪どけ	みずほ台
奨励賞	古川 宏	辰砂水指し	名古屋市
入選	田所 正敏	練り込み湯呑	関ヶ丘
入選	堀川 峰男	花入	鈴鹿市
入選	谷口 秀文	透かし紋 花入れ	鈴鹿市
入選	北村 圭子	レリーフ カラー(花)	野村一丁目
入選	岡本 利見	かえるの親子	和田町
入選	西川 るみ子	みんな友達	川合町
入選	久保田 めぐみ	cosyo cosyo	能褒野町
入選	井上 一男	壺	阿野田町
入選	竹森 實紀雄	欲袋	名張市
審査員	高山 大	黒陶金彩拭漆経函	津市
審査員	恒岡 光興	辰砂釉薬深皿	伊賀市
審査員	上原 正廣	さあー 行くよー。	鈴鹿市
運営委員	後藤 正博	瑠璃釉縄文壺	御幸町

## ○第 17 回 亀山市美術展について

### 《第 17 回 亀山市美術展出展状況》

部 門	出品数	入選	無鑑査	審査員	特別出展	運営委員	展示作品
日本画	13	13	1	3	0	1	18
洋 画	28	28	0	3	0	1	32
写 真	24	24	1	3	0	1	29
書	21	21	3	3	0	1	28
彫刻・工芸	15	15	0	3	1	1	20
合 計	101	101	5	15	1	5	127

※ 平成 18 年度亀山市美術展以降、同部門で市長賞を 2 回受賞された方は 5 年間無鑑査となります。

※ 彫刻・工芸部門には、第 9 回亀山市美術展より陶芸を含みます。

※ 入選者数に、入賞者数（奨励賞を含む 6 賞）を含みます。

### 《審査員及び運営委員》

#### 審 査 員

【日本画部門】 永都叶千・川口茜漣・山崎和夫  
 【洋画部門】 田村公男・伊藤龍彦・川村隆夫  
 【写真部門】 松原 豊・山口政宣・石井 清  
 【書部門】 稲垣無得・樋口鈴峰・伊藤南邨  
 【彫刻・工芸部門】 高山 大・恒岡光興・上原正廣

#### 運 営 委 員

【日本画部門】 宮崎観峰  
 【洋画部門】 中田勝彦  
 【写真部門】 平野 武  
 【書部門】 安藤清舟  
 【彫刻・工芸部門】 後藤正博

※目録氏名は敬称を略しました。

